

令和元年度 厚木東高等学校不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	教育公務員としての規範意識を喚起し、不祥事防止の意識づけを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員啓発資料や職員行動指針等を活用して、随時職場研修を行い、公務員としての自覚とモラルの向上を図った。 公務員としての自覚をもって、適切な電話対応や来客対応ができた。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	生徒に対する不適切な指導、職員間における迷惑行為の根絶をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 職場啓発資料を活用して職場研修を行い、規範意識の向上を図るとともに、記者発表資料や新聞記事等を活用して、注意を喚起した。 態度や言葉、人権意識に留意し、適切な指導を行った。
(3) 体罰、不適切な指導の防止	生徒の理解に基づく指導を徹底する。（体罰・不適切な指導ゼロ）	<ul style="list-style-type: none"> 職場研修により人権感覚を養い、人権意識を高めた。 部活動、合宿における事故防止に努めた。 体罰防止を含め、人権に配慮した指導ができた。
(4) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	業務体制・日程を確認し、複数で確認することにより、事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 入選業務では、マニュアルに従い、複数で業務にあたる等、点検を徹底し、事故を防止できた。 調査書や通知表の作成でも、マニュアルに従い複数の職員による業務遂行と複数回のチェック体制を徹底した。
(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を確実に防止し、情報セキュリティを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の持ち出しについては、必ず校長の許可を受けた上でを行い、取り扱いに最新の注意を払った。 電話やメール、SNSの不適切な使用のないよう徹底した。
(6) 交通事故、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、並びに交通違反を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業直前の不祥事防止会議において、酒酔い・酒気帯び運転は絶対しないよう呼びかけた。 交通法規順守が徹底できた。
(7) 服務規程の順守及び業務執行体制の確保等	公務員としての自覚を持ち県民対応の基本を再確認し、法令順守・服務規程の再徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有や迅速な連絡を心掛け、複数の職員によるチェックを確実に行った。 業務の進行管理を適切に行うことで、業務が適切に遂行できた。
(8) 会計事務等の適正執行	私費会計のトラブルや事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 私費会計の会計処理や諸帳簿の管理を適正に行った。 校長、副校長、教頭、事務長による私費会計調査を定期的実施した。
(9) 学校内の設備の安全管理と緊急時の迅速な対応	学校内の設備の安全管理と、緊急時を想定したマニュアルの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 学校内の設備を定期的に確認し、安全管理を行った。 学校行事計画において設備の安全点検。管理を行うとともに、安全に十分配慮した行動計画を策定できた。
(10) 行政文書の適切な収受と発出	届いた文書について適切な処理を行い、処理後に適切に保管する。	<ul style="list-style-type: none"> 行政文書は収受後速やかに処理することができた。 対策重要度に応じた適切な管理を行った。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題 (校長意見)

令和元年度の不祥事ゼロプログラムを検証すると、頻繁に検証・啓発の機会を設定したこともあり、理解が深まったとする職員が多かった。今後も、折に触れて繰り返し注意喚起することが、事故防止環境の醸成に必要である。

令和2年度においては、対生徒・職員間の人権尊重意識の拡充、個人情報の管理、成績処理及び進路関係書類の作成や、入学者選抜にかかる不祥事防止に取り組むとともに、適切な会計処理等迅速な処理を確実にできるよう、働き方改革を念頭に、業務執行体制を構築していく。